

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回清須市地域包括ケアシステム推進委員会
開催日時	令和6年3月18日（火）午後2時から午後3時
開催場所	新川福祉センター 2階 集会室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活支援・介護予防の基盤整備の取組状況 （資料1-1）（資料1-2）</li> <li>(2) いこまいか教室フレイルアンケート調査結果報告 （資料2-1）（資料2-2）</li> </ol> </li> <li>4. その他</li> <li>5. 閉会</li> </ol>
会議資料	<p>令和5年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿</p> <p>清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱</p> <p>生活支援・介護予防の基盤整備の取組状況 （資料1-1）（資料1-2）</p> <p>いこまいか教室フレイルアンケート調査結果報告 （資料2-1）（資料2-2）</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	加藤（裕）委員（委員長）、小関委員（副委員長）、山内委員、河村委員、櫻井委員、塚崎委員、山口委員、圓福委員、宮田委員、伊藤委員、塚田委員、室田委員、奥山委員、加藤（真）委員、鎌田委員、森川委員
欠席委員	なし
出席者 （オブザーバー）	西名古屋医師会 高木オブザーバー 公益社団法人愛知県理学療法士会 池野副代表理事
出席者 事務局	<p>（清須市役所高齢福祉課）</p> <p>加藤健康福祉部長、寺社下課長、石田課長補佐、加藤介護予防係長、葛谷主任主査、鈴木主査</p> <p>（清須市社会福祉協議会）</p> <p>清須市地域包括支援センター 谷川管理者、青山係長</p> <p>清須市地域包括支援センターさわやか 飛永係長</p> <p>中川生活支援コーディネーター</p>

## 会議の経過

### 1. 開会

### 2. あいさつ

#### ●事務局

皆様、こんにちは。

ただいまから「令和5年度第3回清須市地域包括ケアシステム推進委員会」を始めさせていただきます。私は、本日の進行役を務めさせていただきます、高齢福祉課長の寺社下です。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただく事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますので宜しくお願い致します。

本日の傍聴者は、ありませんのでご報告致します。なお、本日愛知県より公益社団法人愛知県理学療法士会副代表理事の池野様にお越し頂いておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。開会にあたりまして、健康福祉部長の加藤よりご挨拶を申し上げます。

#### ●事務局（健康福祉部長）

〔部長あいさつ〕

#### ●事務局

ありがとうございました。それでは、着席して進めさせていただきます。

これより議事に入りますが、議事進行につきましては、設置要綱第5条第3項の規定により委員長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤委員長にお願いいたします。

#### ◎加藤委員長

皆様、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

議事進行にあたり、本日の会議録署名委員には、加藤真弓委員と塚田委員を指名させていただきますので、宜しくお願い致します。

（加藤委員、塚田委員承諾）

それでは、3議事について(1)生活支援・介護予防の基盤整備の取組状況について、事務局から説明をお願いいたします。

### 3. 議事

#### ●事務局

〔資料に沿って説明〕

生活支援・介護予防の基盤整備の取組状況

(資料1-1) (資料1-2)

◎加藤委員長

ただいまの説明に何か質問・意見があればいただきたいと思います。

事務局が生活コーディネーターのあり方について詳しく説明しておりましたが、社会福祉協議会で生活支援コーディネーターをしておられる中川様から、何か意見がございましたらよろしくお願い致します。

○中川生活支援コーディネーター

ただいま説明して頂いたとおりで、特に不足等はございません。

◎加藤委員長

室田委員は胡桃訪問看護ステーションで実際に様々な事案を経験されていると思いますが、個別ケア会議について何か懸念点等ありますでしょうか。

○室田委員

個別ケア会議は固有の課題から地域課題を抽出し、改善することが目的としてあげられています。今年の会議について、次年度に向けての改善案はどうなっているのかお聞かせ願いたいです。

●事務局

地域課題につきましては、地域の繋がりが薄く支援につながらないという所があります。そのため、来年度新たな取り組みとして運動教室を行います。その中で運動教室の新規参加者のみならず、地域の中心として働いて頂ける人材の発掘も行いたいと考えています。

○山口委員

来年の「ちょこいこ教室」について、いこまいか教室が十分にできていない地域で開催するという理解でよろしいでしょうか

●事務局

現在市内4地区の内、西枇杷島地区がいこまいか教室を一カ所しか開催できておりません。西枇杷島地区は民間のサロンや通いの場が多くありますが、市の事業としては手薄となっておりますので、西枇杷島地区を中心として、公共施設のさわやかプラザや創造センター等での開催、啓発を計画しております。

また、今年度社会福祉協議会がヨシヅヤ清洲店3階の「ありがとう広場」でげんき塾を始められました。様々な方が訪れ当日参加もしやすい場所となっておりますので、開催を予定しております。

◎加藤委員長

他にご意見ご質問はよろしいでしょうか。

それでは、(2) いこまいか教室フレイルアンケート調査結果報告について、事務局から説明をお願いいたします。

●事務局

[資料に沿って説明]

いこまいか教室フレイルアンケート調査結果報告

(資料2-1) (資料2-2)

◎加藤委員長

ただいまの説明に何か質問・意見があればいただきたいと思います。

○加藤(真)委員

資料2-1(4)要介護者数について、前回よりも減少したとありますが、その捉え方について教えて頂きたいです。減少を良いことと捉えるのか、それとも要介護認定者の受け皿としての機能に課題があるとするものでしょうか。

また、アンケートについて、年齢が上がればチェックが入りやすくなると思われま。該当者が増えているのは年齢的なものなのか、それとも別の要因があるのでしょうか。いこまいか教室は定期的に体力チェックをされているということですが、その中で運動能力等が維持できているか把握されていたら教えてください。

●事務局

資料2-2、表2を見ますと、要介護の方は現状維持ができています。中には要支援2から要支援1になった方や、要支援から要介護へ重症化した方がいないことから、教室としての効果が出ているかと思われま。

また、いこまいか教室は介護予防の枠組みとして、介護保険を使う前の方を対象としています。ですが、地域の方が心配して要支援や要介護の方を誘いあって参加して頂いている所を見れば、要介護の方でも参加して頂きやすい教室ができているかと思われま。ただ、要介護の方が参加して頂いた結果として、予防事業としてある教室の運動レベルが下がらないよう今後工夫していく必要があります。

希望される方がありましたら、要介護でも問題無く参加いただける教室であればいいと思われま。

今回は令和3年度と令和4年度の比較ですが、いこまいか教室に長く参加されている方もいらっしゃるの、今後は長期的な変化についても見ていく必要があると考えています。

体力測定は毎年1回ずつ実施しています。教室ごとに集計し順位も出しておりますので、教室同士で盛り上がって参加頂けているかと思えます。

○塚田委員

いこまいか教室に参加されている男性の方の内、約7割が他の事業に参加されていないと伺いました。教室に初めて参加された方が、どういう経緯で参加されたのかが気になります。また、男性が一回きりでなく継続して参加できているのかわかる資料があればお伺いしたいです。

●事務局

男性の参加率についてですが、寿会やブロック社協が中心になってやっておられる教室は世話役も男性の方が多く、そういった教室は男性の参加率も高くなる傾向にあります。

男性の継続参加に関する確とした資料はありませんが、男女の比率はほぼ変動がありませんので、継続して参加頂けていると思っております。

◎加藤委員長

男性が参加しやすい事業について、何か検討などされていますか？

○中川生活支援コーディネーター

県の派遣事業の中でドローンやモルック等の提案を頂きました。反響も高かったので、社会福祉協議会でも貸し出し備品として利用していく予定です。広めていくに際しては、皆様にもお声がけをして、担い手の方々に集まって頂いて、共有していける場を作っていけたらと思えます。

また、スマホのサロンも一部寿会で開催しました。多くの男性に参加頂いたので、少しずつ他地区にも拡張して男性の社会参加の一助にしていけたらと考えています。

◎加藤委員長

口腔機能の低下がフレイルにかなり影響を与えるということで、歯科医師会も取り組んでおられる所だと思われま。

そのあたりについて、小関委員いかがですか。

○小関委員

口腔のフレイルは全体的なフレイルの前兆という位置づけで注目しています。毎食食べたくない人や、匂いを感じず満腹度が低い方が多くいらっしやるそうです。私も仕事で様々な施設に伺いますが、現場では食後等に対策を頑張っておられます。

また、最近各所で「男の料理教室」が開催されていますが、その年代

	<p>の男性は料理をできない方が多いのでリピート率が高いと聞いています。清須市でも、男の料理教室があるといいかなと思っています。</p> <p>◎加藤委員長  それでは、4その他になりますが、西名古屋医師会事務局の高木様からお願いします。</p> <p>○高木オブザーバー  〔事務局の移転について説明〕</p> <p>◎加藤委員  その他事務局から何かありますか。</p> <p>●事務局  今年度予定していました3回目の委員会も無事開催することができました。  来年度も引き続き予定しておりますので本市の地域包括ケアシステムの推進の御協力いただきたいと思います。宜しくお願い致します。</p> <p>5. 閉会</p> <p>◎加藤委員長  それでは、議題も全て終了しましたので、委員の皆さんからの様々なご意見をいただき、ありがとうございました。  今回の議事につきましては、すべて終了いたしました。  本日は、円滑な進行にご協力頂きましてありがとうございました。それでは、マイクを事務局にお返しします。</p> <p>●事務局  本日は、貴重なご意見をありがとうございました。これをもちまして、令和5年度第3回清須市地域包括ケアシステム推進委員会を閉会いたします。なお、資料1-2を回収致しますので机の上に置いてお帰りください。ありがとうございました。</p>
会議の結果	会議の経過に示したとおり

会議の経過を記載して、その相違のないことを証するためにここに署名する。

署名委員 加藤 真弓

署名委員 塚田 智淑